

二 部 地 区 活 性 化 だ よ り

野上川の風

発 行
二部地区活性化推進機構

編 集
総 務 部 会

事 務 局

T689-4233
西伯郡伯耆町二部1562-1
二 部 公 民 館 内
TEL・FAX 0859-62-7159

酒米の稲刈り
福岡地区で行なわれた酒米の稲刈りには皆生旅館組合と境港千代むすび酒造の面々および三十八人が参加した。子供も加わって地元農家との交流行事は盛会を極めた。



米作りの行方 ゆくえ

米の作柄はやや不良と厳しいが依然 米の消費量は減り続き農家の高齢化で作業受委託は増える一方それでも耕作放棄地も増え続ける地球温暖化に対応した新品種や新規作目導入消費者に安全安心を届ける減農薬や有機栽培消費拡大を目指す米粉や飼料米子供の朝飯と食育教育街との米づくり交流での地域おこし 等等など課題と対策は枚挙にいとまがないでもこれを実行するには農家の自覚と皆で対応する集落の結束だ、ぜひ集落堂農を確立しよう

平成21年度事業計画

今年では本会設立11年目の年であります。今後も地域住民各位の一層の信頼と多岐に亘るニーズに対応できる会の運営を目指します。

新年度の最重点課題を地域特産物の育成、販路拡大・各部署の事業内容の更なる充実を目指し積極的に取り組みます。

各部署毎には新規事業も加えた事業計画を下記により策定しました。

部会別事業計画

(印は新規事業)

1. 総務部会

- ア 会報「野上川の風」年2回発行
- イ 先進地視察(1日研修)
- ウ むらづくり講演会の開催
- エ 女性の意見を聞く会先進地視察開催
- オ 新地域特産物生産・販売促進支援(どぶろく支援)
- カ 「出雲街道今昔物語」日本海新聞連載支援

2. 産業振興部会

- ア 畦畔草の植栽推進
- イ 特産物の育成集荷、山菜賞味会支援
- ウ 有機栽培取り組み
- エ 優良品種(米)展示・賞味会開催
- オ 盆花栽培・販売
- カ フリーマーケット開催
- キ 新地域特産物生産・販売促進支援(どぶろく支援)

3. 住みよい環境部会

- ア 河川のヨシ刈りボランティアの推進

- イ 野上川淡水しじみ復活作戦
- ウ ゴミ減量作戦への協力(看板作成)
- エ 道路・河川の一斉清掃(春、秋及び計2回)
- オ 彼岸花植付け

4. 趣味と生きがい部会

- ア たたらまつり、高齢者学級への協力
- イ 各種同好会活動の支援(水墨画・絵手紙・編物・染物・生花・古布・手芸等作品展)
- ウ 菊作り(ドーム菊・福助菊展示会)
- エ 料理講習(米粉料理)
- オ 二部谷風景写真等の刊行
- カ フリーマーケット開催
- キ コスモス畑植栽

5. 健康スポーツ部会

- ア 町民運動会二部地区大会への協力
- イ 二部マラソン協力
- ウ 健康講演会の開催
- エ ニュースポーツ教室の開催

6. 福祉ボランティア部会

- ア 高齢者、障がい者への活動支援
- イ 介護実習の体験教室開催

7. ファンクラブ部会

- ア 二部地区の情報発信
- イ 二部地区マップの作成
- ウ 交流イベントの検討実施
- エ ふるさと小包の発送(夏・冬の二回)

平成20年度収支決算書

収入総額	741,398 円
支出総額	546,991 円
差し引き	194,407 円 (21年度に繰越)

収入の部

(単位:円)

科 目	決 算 額	備 考
会 費	184,500	369世帯×500円
補助金・交付金	187,000	県補助金100,000円 町交付金87,000円
繰 越 金	369,519	
雑 収 入	379	預金利息
合 計	741,398	

支出の部

科 目	決 算 額	備 考
会 議 費	13,167	
事業費	115,355	講師謝礼・消耗品・広報紙印刷
産業振興部会	71,272	山菜会材料・出雲街道旗・苗委託
住みよい環境部会	67,345	一斉清掃参加賞・活性化旗・写真代
趣味と生きがい部会	38,080	菊花展・フォトコンテスト・同好会お礼
健康スポーツ部会	9,600	メタボリック講演会お礼
福祉ボランティア部会	10,000	旅費
新規事業準備費	19,700	切手代
ファンクラブ部会	44,925	ダンボール箱・ポリ袋・バックシーラー・乾洗剤・クリーニング
視察研修費	105,987	高知県津野町視察補助
事務局費	49,560	コピー機トナー代
雑 費	0	
予 備 費	2,000	記念品代
合 計	546,991	

平成21年度収支予算書

収入総額	617,000円
支出総額	617,000円
差し引き	0円

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	備 考
会 費	200,000	400世帯×500円
補助金・交付金	208,000	(県補助金)100,000円(町交付金)108,000円
繰 越 金	194,407	前年度繰越金
雑 収 入	14,593	預金利息等収入
合 計	617,000	

支出の部

科 目	予 算 額	備 考
会 議 費	20,000	コピー使用料・封筒代・紙代等
事業費	140,000	講師謝礼・消耗品・広報紙印刷
産業振興部会	50,000	山菜会材料・展示食味・盆花栽培
住みよい環境部会	40,000	一斉清掃参加賞・写真等
趣味と生きがい部会	50,000	菊花展・フォトコンテスト・各種同好会謝礼
健康スポーツ部会	35,000	健康ウォーキング・ニュースポーツ
福祉ボランティア部会	10,000	介護教室
新規事業準備費	10,000	切手代等事務費
ファンクラブ部会	100,000	ダンボール箱・ポリ袋・乾洗剤・クリーニング他(夏・冬2回)
視察研修費	50,000	一日視察研修
事務局費	50,000	コピー機トナー代・切手代
印刷製本費	50,000	二部谷風景刊行
雑 費	7,000	
予 備 費	5,000	
合 計	617,000	

出雲街道よもやまばなし

● 安 達 允

二部地区活性化推進機構のきもいり、昨年の五月から日本海新聞に、「出雲街道今昔物語」の連載が始まりました。出雲街道やその周辺の昔から近年までの、さまざまな事から出来事、人間模様などを紹介するものです。南波睦人さん森谷肇一郎さん影山猛さん私の四人で各分野を担当し、月二回のペースで約三十回の予定でした。

反響は大きく好評のようで回数は増え、今年いっぱいはいしっかりかかりそうです。連載が終われば冊子にまとめる話もあり広く読んでいただきたいと願っております。

七月から「出雲街道二部塾」と銘打って、二部公民館で私が郷土の歴史に関わる講座を開いております。肩がこらずしかも内容豊かな話をと心がけており、地区外も含めて三十数名の方々の熱心なつどいの場です。

七月十日には、香川県三豊市から約四十名が出雲街道探訪に来られました。旧二部宿を中心に説明し、たこさんや福岡製鉄所跡まで足を伸ばしました。

ひなびた当地に、伝統的な面影が色濃く残っているのに感動されたようです。各地によく出かける旅なれた方々ですが、二部公民館の真心こもった対応は、よそではあまりないことと、感謝されました。徳重様ご夫妻はその日の感想を漢詩に詠み、

送って下さいました。「伯州福岡製鉄所跡 徳重義雄」「出雲街道二部塾 徳重悦子」で、それぞれ当地の風光を愛で、かつての本陣・宿場・製鉄所などの繁盛を偲び、世のうつりかわりに思いをいたすという内容で、格調高いものです。出雲街道では、何といっても旧本陣足羽家は大きな存在です。十七代の当主喜代子様はお一人でよく家を守られ、その生きざまには全く頭が下がります。終わりにになりましたが、嬉しいニュースがあります。喜代子様は向上心に満ち積極的に学習を続けるなどして居られ、長寿社会づくりの模範であるとして、このほど「鳥取いきいき知事表彰」をお受けになり、新聞でも大きく報道されました。本当におめでたいことで、心からお慶び申し上げます。



出雲街道二部塾にて

女性の意見を聞く会を開催して

● 総務部 中 田 瑞 穂

この度、かねてからの念願でありました「女性の意見を聞く会」を四月十五日に開催いたしました。

本会開催の目的は、女性を中心となつて地域活動に参加することで地域を活性化しよう。元気な地域は女性リーダーの活動が活発である。今後継者を育成するには地域が一つになり協力する必要がある。といったもので、女性が楽しみながら出来る活動を先進地事例に学び、意見交換により今後の活動の指針を決め、二部地域の発展の一助としたいという主旨でした。

今回は西部総合事務所農林局の局長宮本京子氏をお招きし、県内における「女性リーダー活動の先進地事例」をDVDで紹介されました。

琴浦町野田地区は人口四十五人、世帯数十二の小さな集落で六十五歳以上の方がほとんどという状況。そばや山菜料理を提供して地域の活性化に成功したという事例でした。

男性がそばを打ち、女性が山菜等地元食材を生かし心のこもったもてなし料理を提供しているのを見て、生き生きと楽しそうな姿が何よりも印象的でした。

ここでは相互協力の結果、集落の活動に女性の意見が通るようになったということでした。

事例を学んだ後、出席者で今後の二部について意見交換を行いましたのでご紹介します。

・活性化推進機構の部会に女性にも

つと参加してほしい。

・山菜賞味会開催の際には、代金を払うことで出席しやすくなる。

・出雲街道視察に二部に来られる方の接待には地元産の食材を使っておもてなししてほしい。

・出雲街道の歴史を語り継げる人材を育成する必要がある。

・空家利用によりフリーマーケットを開催する。

・盆花販売をしてはどうか。

等の意見が出ました。実際に地域を活性化するには、収入の増加が大きな励みとなると考えます。

この度、「女性の意見を聞く会」を開催し、日頃考えていることを意見交換することで、今後の指針が改めて明確になりました。感想として、単に話だけで終わらず、課題を議論し、先進地の情報、視察を積極的に行い自分達なりに一つでも実践していくことが、必要であると実感しました。

女性の持

つ行動力は

素晴らしい

ものがある

と思います。

女性の皆

さん明るさ

と笑顔で今

後も頑張っ

ていきまし



たべてごしない二部の味 「夏かしや二部の味」発送

●産業振興部会長 車 睦宏

七月三十一日たべてごしない二部の味「まめなかや 夏かしや」のふるさと小包便が各方面に発送されました。

今回が初めての夏仕様の小包便の計画、商品の選定、発送日、パッケージなどを会員の皆さんと相談し準備をしてきました。今年は七月中旬頃からの冷夏、長雨等の異常気象の影響により夏野菜の生

育が非常に悪く、予定の数量確保が難しい中、会員の皆様のお陰で何とか確保ができました。

発送品の中身は、梅の実を収穫し何時間もコトコト煮つめてパッく詰めした梅みそ。畑から収穫され一つ一つ手洗いし袋詰めした「みょうが」。椎茸を原料に出来上がった「醤油、せんべい、乾燥椎茸」食べる人を思い浮かべて作られた「もち米粉」に「米」そして心優しい「絵手紙」、季節の風景を写した写真などをパックにして発送することができました。

たべてごしない二部の味発送式



これもご注文いただいた皆様が届いた商品を開けた時に喜ばれる顔、口にした時その味に思わず故郷を思い出される姿を想像して一生懸命取り組んで頂いた会員の皆さんのお陰と感謝しています。

今後、年末では、二回目となる小包発送に全力で取り組んで行きたいと思えます。

会員の皆様のご協力よろしくお願いいたします。

活動日誌メモ

平成二十二年

(月日) (内 容)

(月日) (内 容)

四、一四 山菜出荷開始

四、一五 女性の意見を聞く会

四、二〇 山菜賞味会打合せ

四、二八 区長協議会出席(事務局)

五、一五 山菜賞味会打合せ

五、二二 出雲街道今昔物語打合せ

五、二七 第四回山菜賞味会(五〇名出席)

六、一 産業振興部会打合せ

六、一五 福祉ボランティア部会・花回廊(五名参加)

六、一七 山菜賞味会反省会

六、一七 役員会(活動方針・事業計画)

六、一九 各部会事業計画打合せ

(活動方針・計画策定)

六、二二 二部地区一斉清掃

(前期・三二一名参加・二八五kg)

六、二八 委員総会

(事業報告・決算・予算・講演会)

実出席三二名・委任状一六名

ふるさと小包試作品検討会

七、二三 住みよい環境部会打合せ

(ヨシ刈り・シジミ)

七、一七 産業振興部会打合せ

(盆花販売)

七、二七 ふるさと小包準備打合せ

七、二八 米粉の料理伝達講習会

(趣味と生きがい部会)

七、三二 ふるさと小包発送式(夏仕様)

八、一〇 盆花販売準備

八、一一 盆花販売

八、二三 野上川ヨシ刈り作業

(三三名参加)

八、三〇 野上川集草作業(二〇名参加)

九、四 伯耆町民運動会二部地区大会

打合せ

九、末 会報 発行

あどがき

朝夕めつくり涼しくなり秋も盛りの気配が感じられる季節となりました。稲の刈り取りも大方終わりました。

今年の稲作も、梅雨時の長雨と低温で作柄が心配されましたが、盆明けから天候も回復し、収穫時期の好天続きで刈り取りも順調に進みました。

しかしながら梅雨時の悪天候により作柄は必ずしも好ましくなかったよう

で鳥取県の作況指数は九五のやや不良に終わりました。

先般の国政選挙により自民党から

新しい政権に期待したいと思います。